

# 平成21年度 2次補正予算

## 記者発表資料



取 扱

本発表をもって解禁

お問い合わせ先  
国土交通省金沢河川国道事務所 TEL 076-264-8800(代)

【治水関係】 調査第一課長 森田(もりた) 内線 351

【道路関係】 調査第二課長 吉田(よしだ) 内線 451

# 平成21年度 2次補正予算(金沢河川国道事務所)

公共事業の円滑かつ効率的な執行を図るために、次年度以降の予算を前倒しする  
**ゼロ国債として** **約 2,345 百万円**  
が配分されました。

:ゼロ国債とは、債務負担が次年度以降にわたるもので、当該年度中の国費の支出がゼロの国債債務負担行為のことで、年度内に工事の発注が行え、工事が絶え間なくまた早期に工事がすすめられる。

:国庫債務負担行為とは、通常、単年度での執行となる歳出予算について、完成が数年度を要する事業等で、国会の議決を得て数年度にわたり負担が行える行為のこと。

## 金沢河川国道事務所 平成21年度2次補正予算表

(単位:百万円)

	ゼロ国債
治水関係	625
道路関係	1,720
事務所計	2,345

### 主要事業

#### 治水関係

- 湊地区 手取川下流部河道掘削の整備推進
- 小松地区 分水路等の整備推進
- 甚之助谷上流山腹工
- 別当谷法面对策工

#### 道路関係

- 一般国道8号(小松バイパスの事業推進)
- 一般国道8号(加賀拡幅の事業推進)
- 一般国道157号(香林坊拡幅(野町広小路交差点改良))
- 一般国道470号(七尾氷見道路の推進)
- 一般国道8号(乾宮丸地区交差点改良事業の推進)
- 一般国道159号(松浜自転車歩行者道整備事業の推進)
- 管内の橋梁補修

みなと 湊地区 てどり がわ 手取川下流部河道掘削の整備推進  
いしかわ はくさん の み 石川県白山市、能美市

災害に強い安全・安心な国土の実現

事業の概要

手取川は、流域の9割を山地が占め、水源から河口までの平均勾配が約27分の1という我が国  
有数の急流河川です。このため、洪水時の非常に大きいエネルギーによりこれまでも幾度となく堤  
防が破堤し、大きな被害をもたらしてきました。

このため、急流河川の洪水エネルギーに対して、十分な安全性を確保するため既設堤防の拡幅を  
実施していますが、河口付近では流下能力が不足している区間があるため、手取川下流部の白山市  
湊地区において河道掘削を推進します。

整備効果

既存堤防を拡幅し洪水エネルギーに対して十分な安全性を確保します。また河道掘削し流下能力  
を向上させます。

事業着手

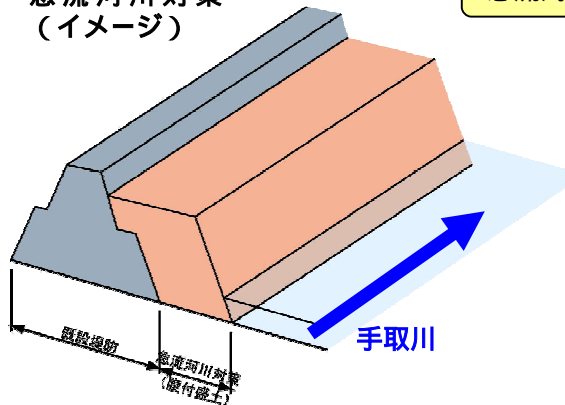
平成21年度

平成21年度2次補正予算の内容

洪水時の局所的な洗堀・侵食から堤防を保護するため、能美市岩内地区において、急流河川対策  
(腹付け盛土)を実施するとともに、河口部では流下能力を向上させるため白山市湊地区において  
河道掘削を実施します。



急流河川対策  
(イメージ)



急流河川対策



# 小松地区 分水路等の整備推進

いしかわ こまつ  
石川県小松市

災害に強い安全・安心な国土の実現

## 事業の概要

梯川水系梯川は小松市街地を貫流する都市型河川であり、氾濫域に人口、資産等が集中しており、また流下能力が大きく不足しているため、氾濫による被害は甚大なものが予想されます。このため治水安全度の向上を目的に、特に流下能力が不足している河口から1.0km～7.6km迄（前川合流点～鍋谷川合流点間）を重点改修区間と位置付け、下流部より順次引堤による堤防整備を行っています。また改修区間には、小松天満宮（国指定重要文化財）が存在し地域のシンボルとなっていることから、現位置での保存を図る分水路方式による河川整備を行います。

## 整備効果

重点区間の改修により、洪水を安全に流下させることが可能となり、小松市中心市街地の治水安全度が向上されます。

## 事業着手

昭和12年度

## 平成21年度2次補正予算の内容

近年洪水では平成10年9月、平成16年10月及び平成18年7月と「はん濫危険水位」を超え、避難勧告等がなされるなど危険な状況にあることから、引き続き重点改修区間で市街地が隣接している小松地区の堤防整備を推進します。

- ・小松地区 築堤・耐震対策 1式





じんのすけだにじょうりゅうさんぶくこう

# 甚之助谷上流山腹工の推進

いしかわ はくさん  
石川県白山市

災害に強い安全・安心な国土の実現

## 事業の概要

手取川水系牛首川（ウシクビガワ）上流の甚之助谷では、昭和初期に建設された日本最古級の階段式石積み砂防堰堤の右岸袖部が損傷を受け山脚の浸食が進んでいます。一方、隣接する別当谷（ベツトウダニ）において平成16年5月に発生した大規模な土石流は、別当出合（ベツトウデアイ）の登山用吊橋の流失、登山道への土砂堆積など大きな被害を発生させ、年間約5万人が訪れる白山登山や観光に大きな影響を与えました。甚之助谷においても浸食が進み、大規模な崩壊、土石流が発生する危険があります。また、右岸の斜面上部には、白山登山の主要登山道である砂防新道（サボウシンドウ）もあることから、早急に山腹対策工を行い山腹斜面の安定、既設の階段式石積み砂防堰堤の機能回復を図ります。

## 整備効果

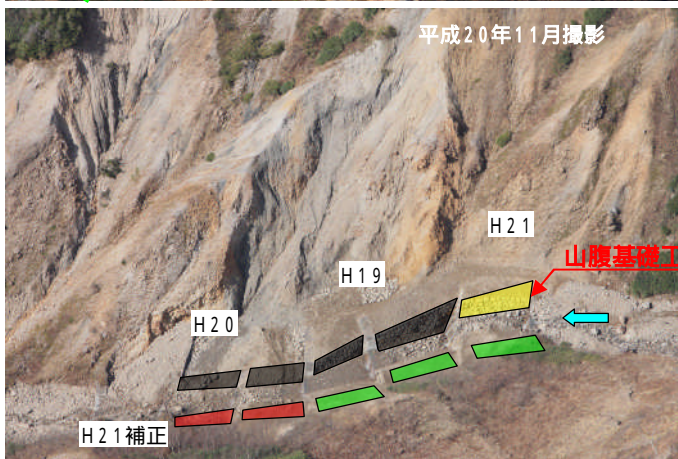
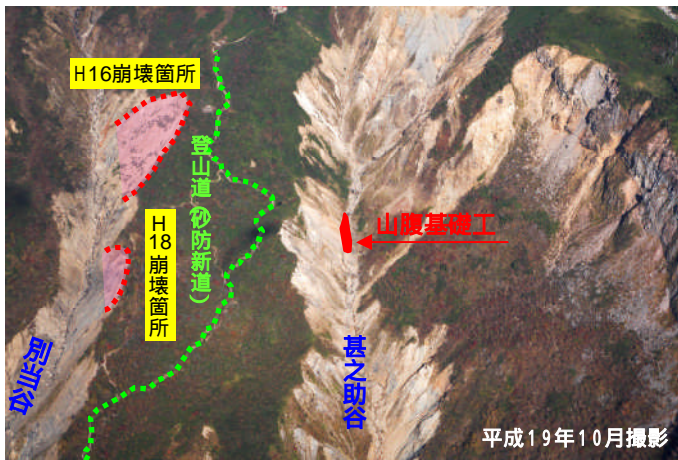
大規模な土砂流出を抑制することにより、別当出合の白山登山・観光の拠点施設、迂回路のないアクセス道である県道白山公園線及び白峰集落など保全対象の安全度向上を図ります。

## 事業着手

平成19年度

## 平成21年度2次補正予算の事業内容

引き続き山腹基礎工としての石積み護岸の整備を推進し、流路及び山腹斜面の安定を図ります。



平成11年9月台風16号による甚之助谷下流の柳谷の土石流

べっとうだにのりめんたいさくこう

# 別当谷法面对策工の推進

いしかわ はくさん  
石川県白山市

災害に強い安全・安心な国土の実現

## 事業の概要

手取川水系牛首川（ウシクビガワ）上流の別当谷中流部の右岸法面では、凍結融解及び降雨が起因と考えられる崩壊が拡大しています。別当谷では、平成16年5月の大規模な山腹崩壊による土石流により、別当出合（ベツウデアイ）の登山用吊橋の流失などの被害が発生し、年間約5万人が訪れる白山登山や観光に大きな影響を与えています。また、法面上部には、登山道（観光新道）及び砂防工事用道路、直下流の別当出合には白山登山の拠点施設があるため、早急に法面对策工を行い法面の安定を図ります。

## 整備効果

別当谷からの土砂流出を抑制することにより、別当出合の白山登山・観光の拠点施設、迂回路のないアクセス道である県道白山公園線及び白峰集落など保全対象の安全度向上を図ります。

## 事業着手

平成19年度

## 平成21年度2次補正予算の事業内容

引き続きネット工、植生基材吹付工などの法面对策工の整備を推進し、法面の安定を図ります。

平成19年7月撮影



別当谷第15号砂防堰堤

## 位置図



別当谷法面对策工



平成19年10月撮影



# 国道 8 号 こまつ 小松バイパスの事業推進 いしかわ こまつ 石川県小松市

人をひきつけるゆとりといやしにあふれる暮らしの充実

## 事業の概要

小松バイパスは交通需要をはじめとする諸問題に対応し、かなざわ 金沢バイパス、かなざわ 金沢西バイパス並びに、主要地方道かなざわこまつ 金沢小松線（かが 加賀産業開発道路）と接続することにより、主要幹線道路としての機能を十分発揮するとともに、こまつかが 小松加賀地方圏の更なる発展に大きく寄与する事を目的とした延長約15.6kmの事業です。

## 整備効果

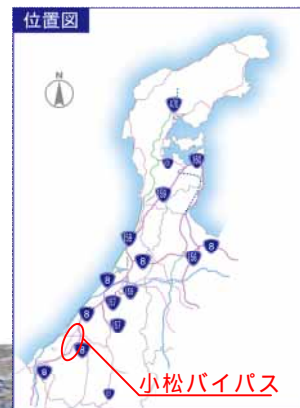
小松バイパスの交通容量を拡大することにより、こまつ 小松市街の交通混雑の緩和及び交通事故の減少等が期待されます。また、かなざわ かが 金沢・加賀方面のアクセス向上が図られ、地域間交流及び地域経済の活性化に寄与します。

## 事業着手

昭和 4 9 年度

## 平成 2 1 年度二次補正予算の事業内容

こまつ 小松バイパスの区間で唯一暫定形となっている ひがしやま 東山 I C の改良工事を推進します。



# かが 国道 8 号加賀拡幅の事業推進 いしかわ かが 石川県加賀市

人をひきつけるゆとりといやしにあふれる暮らしの充実

## 事業の概要

かが かが  
加賀拡幅は国道 8 号の加賀市内の交通混雑の緩和を目的とした石川県加賀市箱宮町から同市  
くろせまち  
黒瀬町に至る延長約 6.4 km の拡幅事業です。

平成 11 年度から平成 13 年度までに実施した市民参画型道路計画 ( P I ) を踏まえ、現道拡幅  
ピーアイ  
による道路計画を策定しています。

## 整備効果

かが かが こまつ  
北陸自動車道加賀 IC と国道 8 号小松バイパスに挟まれたボトルネック区間において、加賀温泉  
かが  
郷を中心とする加賀市の経済活動や観光を阻害する渋滞を解消します。

## 事業着手

平成 15 年度

## 平成 21 年度二次補正予算の事業内容

かが はこみやまち まつやままち  
加賀市箱宮町～松山町間の延長約 2.0 km の舗装工事を完成  
させ、平成 22 年度中に供用する予定です。





# 国道470号 ななおひみ 七尾氷見道路の事業推進 いしかわ ななお 石川県七尾市

進取の気性に富んだものづくり文化で培われる国際競争力のある産業の育成  
人をひきつけるゆとりといやしにあふれる暮らしの実現  
日本海側の中枢拠点の形成に向けた交流機能の強化

## 事業の概要

ななおひみ 七尾氷見道路は、高規格幹線道路の国道自動車専用道路として整備を進めている「のうえつ能越自動車道」の一部であり、石川県内では、ななお やわた ななお七尾市八幡（七尾IC（仮称））からとやま富山県境の延長13.6kmで事業を推進しています。

## 整備効果

国道160号は通勤通学や物資の輸送に重要な役割を果たしていますが、雨量規制等による通行止めが頻繁に発生しています。

ななおひみ 七尾氷見道路が供用されることにより、国道160号の代替機能が確保され、安全で快適な道路ネットワークが形成されることとなり、のと能登との交流促進が期待されます。当該事業の整備によりななお ひみ七尾市から氷見市までの所要時間が約30分短縮される見込みです。

## 事業着手

平成8年度

## 平成21年度二次補正予算の事業内容

ななお やた 七尾市矢田地区の改良工事を推進し、早期供用を目指します。



いぬいみやまる  
国道 8 号 乾 宮丸地区交差点改良事業の推進  
石川県白山市

人をひきつけるゆとりといたしにあふれる暮らしの充実

事業の概要

いぬいみやまる  
はくさんしいぬいまち みやまるまち  
乾 宮丸交差点改良事業は、白山市 乾 町～宮丸町の交通混雑の緩和ならびに追突等事故防止を目的として、交差点部の右折レーン(滞留長)の延伸や金沢方面から小松方面の車線を 2 車線から 3 車線に増設する延長約 4 km の改良事業です。

整備効果

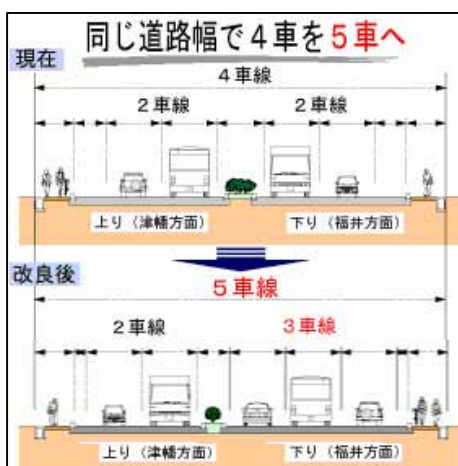
交差点内ならびに交通混雑に起因する交通事故の減少や、海側幹線(石川県)の接続により見込まれる交通混雑の緩和が期待されます。

事業着手

平成 2 1 年度

平成 2 1 年度二次補正予算の事業内容

交差点改良、車線増設工事を推進します。



まつはまじてんしゃほこうしゃどう  
**国道159号 松浜自転車歩行者道整備の推進**  
 石川県かほく市

人をひきつけるゆとりといやしにあふれる暮らしの充実

**事業の概要**

かほく市松浜地区は、車道及び歩道幅員が狭く、通学児童や高齢者、通勤通学の自転車等の利用に危険が生じています。また、当該地区は近接する保育所や小・中学校の通学路にも指定されていることから、車道の拡幅と自転車歩行者道の設置を行い、安心して利用できる通行空間の確保ならびに歩道のバリアフリー化を目的に、交通安全事業を推進します。

**整備効果**

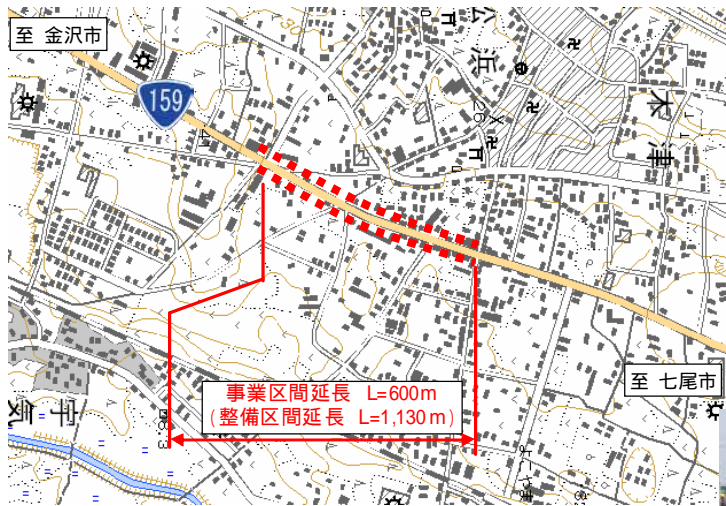
自動車と歩行者等の通行空間分離ならびに歩道のバリアフリー化による、道路利用者の安全確保が図られます。

**事業着手**

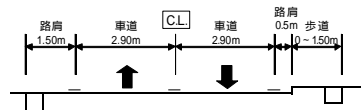
平成16年度

**平成21年度二次補正予算の事業内容**

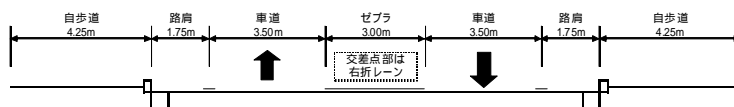
自歩道設置工事を推進します。



現況道路断面図(総幅員 約8~10m)



計画横断面図(標準部)(総幅員 約22m)



現況写真(かほく市松浜)